

まゝゆき
まゝ

October

【秋号】

2013

Vol.123

- 2 新役員あいさつ
- 2 役員紹介
- 3 知事表彰受賞者
- 3 災害支援ナースを派遣
- 4~5 支部長紹介

- 6~8 支部メール(岩国・柳井・小野田)
- 9 information
- 10 ひたむきな保健師Vol.13
- 11 医療安全情報No.20
- 12~13 ナースセンターだよりNo.107

- 14 働き続けられる職場づくり推進事業
- 14 第4回職場・業務改善 発表・交流会
- 15 山口県警察本部よりお知らせ
- 16 ちよこっと自慢です
- 16 表紙に寄せて
- 16 会員数・お知らせ・編集後記



患者・家族、職員が一緒に楽しみました



「オリジナルたこ焼き」など
屋台を出店しました



リハビリ科スタッフによる余興みんな笑顔全開！

国立病院機構柳井
医療センターでの夏祭り

副会長として=2期目のスタート=

第二副会長

小野原 利子



公益社団法人山口県看護協会は、「人々の健康な生活の実現に貢献する」ことを使命として2年目を歩み出しました。

その中で、このたび第二副会長をお引き受けすることになりました。

公益社団法人への移行に追われた2年間を糧として、今後は、地区支部との連携を密にし、会員一人ひとりの力を結集して、地域社会にとっても会員皆様にとっても「身近な看護協会」を目指して活動していきたいと思います。

保健師職能理事に就任して

保健師職能理事

松永 隆子



このたび山口県看護協会保健師職能委員長をお引き受けすることになりました。6月には全国職能別交流集会に参加させていただき、10年ぶりの改正となった活動指針の活用や保健師活動の強化のための意見交換をしてまいりました。公益社団法人となり、職能委員会の機能が「課題集約」「意見集約」という2点に活動の方向性がより明確になってきました。保健師のネットワーク機能を最大限に活用して皆様の声を集約し、この活動指針の普及啓発に努め、保健師職能委員会のメンバーとともに、ホームページや会報「ひたむきな保健師」等での情報発信や「保健師職能集会」「保健師指導ミーティング」等の活動の充実に努めてまいります。

また、山口県看護協会が公益社団法人となりさらなる発展と新たな活動に向けて、微力ながら頑張りたいと思いますので、皆様のご意見、ご協力をよろしくお願ひいたします。

理事に就任して

理事

吉松 菊代



皆さんこんにちは。今年度より全区理事をお引き受けすることになりました吉松です。看護協会に入っていますが、研修に参加させて頂くだけで、役員になるとは夢にも思っていませんでした。難しいことは良くわかりませんが、お引き受けした以上、皆様の足を引っ張らないように一生懸命努力し、皆様に助けてもらいながらこの任期を無事に終える事ができるよう心より願っています。

私は、現在准看護師と介護支援専門員と二足の草鞋をはいています。看護師から見た目、介護支援専門員から見た目、違った目線で患者様の為になるようスタッフと話し合いながら毎日を送っています。

こんな私ですが、これから2年間よろしくお願ひします。

監事に就任して

監事

池部 敦子



この度、山口県看護協会監事をお引き受けすることになりました。

公益社団法人山口県看護協会として新たな出発をした大事な時期に、大役をお引き受けすることとなり、責任の重さを感じております。

「看護の質の向上」「看護職が誇りを持ち安心して働き続けられる環境づくり」「地域の人々のニーズに応える看護領域の開発・展開」を使命として、人々の健康な生活の実現に寄与するために、努力していきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

役員紹介

平成25年度の役員を紹介します。本協会の事業推進のため、会員の皆様のご協力をお願いします。

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
会長	吉村喜代子	保健師職能理事	松永 隆子	地区理事	木原 雅子	地区理事	藤田 恵
第一副会長	花田千鶴美	助産師職能理事	力丸 久実	地区理事	内田久美子	監事	池部 敦子
第二副会長	小野原利子	看護師職能理事	中村 彰子	地区理事	山崎 宏美	監事	津田 京子
第三副会長	小野 和代	全区理事	吉松 菊代	地区理事	伊藤 泰枝	監事	尾崎 泰三
専務理事	深町 幸子	地区理事	豊田 勝太	地区理事	村田かよ子		
常務理事(庶務)	西村 淑乃	地区理事	早瀬 敏子	地区理事	露繁 巧江		
常務理事(会計)	大嶋満須美	地区理事	井上りさ子	地区理事	坂田喜代美		

受賞おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます。

平成25年度 山口県健康福祉功労者（優良看護職員） 知事表彰受賞者

(五十音順)

氏名	職種	勤務場所(所在地)	氏名	職種	勤務場所(所在地)
青木 史枝	保健師	萩市役所(萩市)	西濱佐津代	看護師	みどり病院(岩国市)
井本恵美子	看護師	山口県立総合医療センター(防府市)	沼井 律子	看護師	老人保健施設アイユウ(下関市)
岡村美智子	看護師	福永病院(長門市)	藤井 葉子	保健師	岩国市役所(岩国市)
河村 忍	看護師	田代台病院(美祢市)	藤井 民子	看護師	光市立光総合病院(光市)
小坂まり子	看護師	山口大学医学部附属病院(宇部市)	藤本喜久恵	看護師	徳山看護専門学校(周南市)
篠原 友子	看護師	介護老人保健施設セラヴィ徳山(周南市)	藤山 伸枝	看護師	光中央病院(光市)
寶谷 伸枝	看護師	防府保養院(防府市)	三井 成子	看護師	山口赤十字病院(山口市)
津江 節代	看護師	いしい記念病院(岩国市)	三輪 紗代	看護師	山口リハビリテーション病院(山口市)
通田 好子	看護師	下関市立豊浦病院(下関市)	棟久 房枝	看護師	中村女子高等学校専攻科(山口市)
内賀ヤス子	准看護師	下関市立豊田中央病院(下関市)	室井由美子	看護師	下関市立市民病院(下関市)
中村 静枝	看護師	岩国病院(岩国市)	森山 博司	准看護師	岩国市医療センター医師会病院(岩国市)

萩市・山口市の被災地に災害支援ナースを派遣

7月28日の記録的豪雨により、萩市(須佐・田万川・むつみ)山口市(阿東)において多くの被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

山口県看護協会は、ボランティア及び被災者の方々の救護を依頼され、萩市に8月2日から8月30日まで、山口市には8月5日から8月28日まで、県内各施設から災害支援ナースを派遣いたしました。さらに、萩支部において多くの看護職が救護活動に参加いたしました。

全国各地からボランティアの皆さんのが被災地に入り、暑い日差しの中家屋に入り込んだ泥をかき出す作業や、家財の搬出をされる中、怪我をされる方、熱中症の症状の方々等の健康管理をし、災害の早期復興を願って、県内33施設、89名の看護職が活動をいたしました。

今回の救護活動に対して、地域の方々からの感謝の声も届き、看護の持つ素晴らしい力を県民の皆様に役立てることができたことをとても嬉しく思っております。

今回被災地で活動頂いた皆様、日常のお忙しい業務の中快く職員を派遣してくださった管理者の皆様に心より感謝申し上げます。



支部長紹介

支部長は理事会において選任された支部が属する地区的理事になります。支部長の役割は重責ですが、支部と看護協会の連携がより取りやすくなりました。県と支部、会員をつなぐ橋渡し役として1年間、よろしくお願ひします。



岩国支部

岩国支部長
豊田 勝太



今年度より支部長を勤めさせていただくことになりました。その責任の重さを感じていますが、今まで実行してきたことをより一層発展させて行くよう努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

柳井支部

柳井支部長
早瀬 敏子



今年度から支部長の任をお受けすることになりました。地域住民の皆様のニーズに応えるため、地域との連携を深め活動を充実させていきたいと思います。また、研修や交流会を通して、看護の専門職として誇りを持ち、安全・安心な保健・医療・福祉に貢献できるように取り組んでいきたいと思います。

周南支部

周南支部長
井上 りさ子



昨年度は、「まちの保健室」で、地域住民の健康づくりのお手伝いを重点的に活動した1年でした。今年度は支部会員の看護の質の向上をめざし、新人看護師の交流会、研修会や看護研究発表会等を充実させ、活気ある支部活動に取り組んでまいりたいと思います。

防府支部

防府支部長
木原 雅子



公益社団法人としてスタート2年目。支部長としてバトンを引き継ぎました。まずは1年、視野を広げ、山口県看護協会・支部・地域へと徐々に公益活動の輪を広げていく努力をしたいと思います。よろしくお願ひ致します。

山口支部

山口支部長
内田 久美子



昨年度は、公益法人化したことによる組織作りを目標として取り組みました。今年度は、さらに役員・委員との連携を強化し、会員・地域の皆様のニーズに応えられるよう、支部運営をしてまいります。よろしくお願ひ致します。

宇部支部

宇部支部長
山崎 宏美



支部長として2年目をを迎えます。「まちの保健室」をとおして地域住民との交流を行い、看護職に対しては交流会、研修会の充実、看護の質の向上をめざし明るくいきいきとした支部活動に取り組んでいきたいと思います。

小野田支部

小野田支部長
伊藤 泰枝



公益社団法人として2年目を度きました。昨年より「まちの保健室」の開催場所が3か所に増え、健康づくりに役立てていただいている。

これからも支部役員・委員の連携を図り、会員や地域の皆様のニーズに応えられるような活動をしていきたいと思います。

長門支部

長門支部長
村田 かよ子



今年度から支部長の任をお受けすることになりました。長門地域は少子高齢化が進んでいる地域ですので、公益性の高い地域活動として健康福祉にその役割が果たせるよう、情報を共有しながら会員同志の交流やネットワークづくりに努力していきたいと思います。

萩支部

萩支部長
露繁 巧江



萩圏域は医療職人材不足などの課題がありますが、看護職が働きやすい地域・萩住民のニーズに応えることのできる看護を目指していきます。各施設連携を取りながら、明るく、楽しく活動したいと思っております。

豊浦支部

豊浦支部長
坂田 喜代美



今年度から支部長の任をお受けすることになりました。最小の支部ですが役員、会員と共に地域の特性、ニーズに対応した支部活動に取り組んでまいります。会員の増加に努力し支部の活性化を目指していきます。

下関支部

下関支部長
藤田 恵



研修会や交流会を通じて会員間の交流・連携を図り、生き生きとした支部活動となるように役員全員で取り組んで行きます。また、看護の専門職業団体として地域医療を支える活動を積極的に行って参りたいと思います。



NEW

支部 メール

今年の支部活動

岩国支部

岩国支部ではこの7月6日に平成25年度の岩国支部集会を行いました。看護協会が公益社団法人になったということがどういうことなのかまだ2年目で十分理解できていない面があったと思いますが、これから活動については現在していることを含め、会員の意見を聞いていきながら進めていきたいと思います。

集会の終了後、ささお歯科クリニック口腔機能センター 院長 佐々生 康弘先生に『口腔と嚥下』という演題で特別講演をしていただきました。ブラーク除去の重要性や嚥下困難はどの時期か分別して考えることが必要であるなど、臨床に関わる看護師が知っておきたい口腔の知識を実際の指導している映像をまじえて講演をしていただき、たいへん勉強になりました。

今後の活動においては、会員の拡大を図りながら看護教育における研修内容や「まちの保健室」などの定期開催における地域市民との交流・宣伝など充実した活動をしていきたいと思っています。また、8月には在宅看護についての支部交流会も行います。

これは昨年から始まったのですが、普段、他院との交流があまりない中でこのような場を持つことで会員の連携が取れたり、お互いの情報を交換できたり、とてもいいことだと感じています。これからもお互いの交流を大切にしていきながら、その中で協会活動がスムーズに運用できるよう働きかけていきたいと思います。そしてできるだけ多くの会員が参加できるよう勧めていきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いします。



今年度の支部活動

柳井支部

柳井支部では、支部集会を7月6日に行いました。参加された支部会員の御協力をいただき、無事終了することができました。皆様にお礼申し上げます。今年度は公益社団法人移行後2年目です。支部長以下半数の役員の交代もあり、引き継がれた各自の役割を果たす為にどうすれば良いかを模索している状況です。今後は、会員の皆様に御迷惑をおかけすることが無いように努めて参りたいと思います。また、これまで以上に地域住民の皆様のニーズに応えるために、会員の皆様の御支援の基、支部活動を推進して参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

〈今年度の活動の概要〉

1.看護職能の質の向上に努める

今年度は、以下の研修を計画しています。

日 時:10月5日(土) 13時~

テーマ:感染対策の基本となるもの

講 師:岩国医療センター・柳井医療センター
感染管理認定看護師



日 時:11月16日(土) 13時~

テーマ:認知症について

講 師:柳井医療センター 副院長 宮地 隆史先生

日 時:2月1日(土)

看護研究発表会

2.「まちの保健室」の活動を通して地域住民の健康福祉に寄与する

平成24年度は、ゆめタウン柳井で、4月・5月を除く各月の第3土曜日に開催しました。863名の方にご参加をいただきました。健康相談・体脂肪測定や、お子様の手型足型のプレゼントは、ご好評をいただいております。今年度も継続して行います。

日 時:4月・5月を除く各月の第3土曜日 10:00~12:00

場 所:ゆめタウン 柳井



3.支部活動(職能交流会)を開催し、親睦、情報交換の場とし連携を図る

平成24年度は、12月の「クリスマスリース作り」では60名、5月の「筋力アップ体操・肩こり・腰痛体操でリフレッシュ」では45名の参加がありました。他施設の方々との親睦や情報交換で、よりよい看護の提供に繋げることができました。今年度も同時期に予定をしています。会員の皆様の要望に添えるように、計画をしています。

みんなで取り組んだ支部活動この一年

小野田支部

小野田支部における平成24年度の活動をご紹介致します。役員会は、できるだけ多くの方々が関われる活動を目指して報告・協議を行っています。公益社団法人としての実践体制固めの年です。教育委員会は、夏の小野田支部集会後の教育講演会(60名参加)と、冬の看護研究発表会(73名参加)を実施しました。職能委員会は、まちの保健室を10回開催しました。そのほか、支部交流会(27名参加)・いいお産の日・助産師交流会にも参加しています。公益事業の推進に対する皆様のご協力ありがとうございます。

小野田支部看護研究発表会

一生懸命取り組んだ成果を発表しあい、講師の先生から講評をいただきました。看護の質向上を目指して、看護実践にいかしていきましょう。



支部交流会

ストレス解消セミナー「笑いのススメ」笑いヨガでは、笑うことの大切さを学び、声を出しあってみんなで笑顔の付き合いができました。



まちの保健室

美祢地区での開催が実現し、小野田サンパーク・道の駅おふく・道の駅みとうの3つの会場で実施しています。



看護の日

各種測定、健康・栄養相談・展示・グッズ配布・おもてなし等さまざまな工夫を凝らし、各施設で開催しています。



Information

県協会



1) 11月の研修会のお知らせ

開催日時（定員）	テーマ	講 師	申込期間
11/9 (土) 10:00~16:00 (80名)	リフレクションで管理の質向上を目指す	滋慶医療科学大学大学医療管理学研究科教授 田村由美	10/1 ～ 10/20
11/17 (日) 10:00~15:00 (200名)	管理者の倫理的的意思決定	聖隸福祉事業団聖隸浜松病院副院長兼総看護部長 勝原裕美子	
11/27 (水) 10:00~16:00 (200名)	【フィジカルアセスメントⅠ】事例から学ぶ基本的アセスメント	済生会山口総合病院集中ケア認定看護師 松波由加 集中ケア認定看護師 田中美和 救急看護認定看護師 桂真佐美	
11/30 (土) 9:30~16:30	【認定看護管理者教育課程ファーストレベル公開講座】看護サービスの質管理	関谷法律事務所弁護士 宗像雄	

2) 12月、1月の研修会のお知らせ

開催日時（定員）	テーマ	講 師	申込期間
12/12 (木) 10:00~16:00 (200名)	看取りとグリーフケア	山口大学大学院医学系研究科非常勤講師 阿蘇品スミ子 山口大学大学院医学系研究科教授 齊田菜穂子	11/1 ～ 11/20
12/14 (土) 10:00~15:00 (200名)	【感染管理Ⅱ】院内感染ゼロを目指して	健和会大手町病院副院長 山口征啓 社会医療法人 /製鉄記念八幡病院感染管理認定看護師 山中直子	
12/21 (土) 13:30~15:30	小児のフィジカルアセスメント(小児看護)	小児救急看護認定看護師 東麻美	12/1 ～ 12/20
1/10 (金) 10:00~16:00 (200名)	【医療安全Ⅲ】医療メディエーション、医療コンフリクト・マネジメント	全社連事業部企画情報課患者安全推進室室長 遠田光子	
1/15 (水) 10:00~16:00 (200名)	人工呼吸器装着中の患者に必要な看護	国立病院機構岩国医療センター集中ケア認定看護師 吉本晃子 集中ケア認定看護師 吉村一徳 集中ケア認定看護師 村川紀雄	12/1 ～ 12/20
1/25 (土) 9:00~15:00 (50名)	シミュレーション教育における効果的な指導	琉球大学医学部附属病院地域医療教育開発講座おきなわクリニカルシミュレーションセンター教授 阿部 幸恵	
1/30 (木) 13:30~15:30 (200名)	食べることは生きること	内田産婦人科医院助産師 内田美智子	

支 部

支部名	支部集会			その他の行事（10月～1月） ※行事名、日時、場所等
	月日（曜日）	時 間	場 所	
岩 国	11月か12月	未定	未定	看護実務者研修会 テーマ「医療安全」 講師 岩国市医療センター医師会病院 医療安全管理者 安永 彰子
	10月と12月	9:30～14:30	ゆめタウン南岩国	まちの保健室
周 南	11月2日(土)	14:00～15:30	スターピアくだまつ	「詰所・家庭で使える整理整頓術」 講師 石橋 陽子先生
	11月9日(土)	10:00～12:00	宇部フロンティア大学	看護の価値を創造するために私たちが取り組むべきこと（仮題） 講師 尾道市立総合医療センター尾道市立病院 副院長・看護部長 山田 佐登美 先生
豊 浦	10月19日(土)	10:00～11:30	下関市豊浦病院 大会議室	終末期看護「エンゼルケアとグリーフケアについて」 講師 下関市立市民病院 緩和ケア認定看護師 和田恵子氏

様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介しています。

今回は、宇部健康福祉センター保健環境部主幹 伊藤 悅子さんです。

「さんまのおかげでひたすらに保健師37年、笑顔の里づくりをめざして-」

宇部健康福祉センター 保健環境部主幹 伊藤 悅子 さん



(伊藤保健師です。)

保健師として大切にされていることは？

✿ 「相手が主人公」「チーム力」「三方一両損」

歌って踊れる保健師は必要かもしれません（笑）、カリスマ保健師は必要ありません！チームとして、同じ目線で、共に考えること、その過程で住民ともチームとも喜びも苦しみも分かち合うことができ、結果、自らが自らの生き方を選択できることにつながると考えています。

「保健」は「医療」や「福祉」のように「〇〇してあげる」ことではなく、その人が自分のQOLを高めることの支援だと思います。自分の人生にどう付き合おうとしているのか、そのためにはどうあればよいのかを寄り添って見守ることができると、住民の笑顔が増えていくのではないかでしょうか。

健康日本21を受けての健康づくり計画策定のモデル事業を担当し、地域の方と一緒に考えていく過程で、「良い仕事ですね！」と言われたことが喜びの体験として記憶に残っています。

その思いにたどり着くきっかけは？

✿ 「訪問での支援に悩みました」

保健師として働いて10年にも満たない頃、2時間にもわたる訪問は、相手の話を聞くことに終始し、上司から「相手のことはわかるけど、保健師として何をしたのか」と指摘を受けました。

「保健師としてどうすればよかったのだろう？」という疑問を解決したく、国立公衆衛生院（当時）で1年間学んだ際、講師の「話を聞くことでその人の自ら考え判断することを支援している」という言葉に、してあげる支援ではなく、相手が気づく支援こそが保健師の専門性だと気づきました。

profile

- 血液型：AB型
- 家族構成：夫と2人暮らし
(今年4月から、初めての2人暮らしです！)
- 趣味：茶道、コーラス、その他いろいろ…
10年間、年末の第九の合唱に参加していました
(現在、休会中)。
調和していく醍醐味は地域づくりに通じるものがある
と感じています。(今年の年末は宇都市で歌えるかな…)

後輩に伝えたい思いを聞かせてください。

✿ 「保健師活動の楽しさを味わって！」

活動を通して住民のQOLが向上し、住民の笑顔が増えることで、私達保健師も元気をもらうことができます。保健を担う者として住民や関係者の自律と共に喜び合える楽しさを伝えていきたいと思っています。活動の目標が「担当地域の住民が笑顔で生活できている」というものも「あり」ではないでしょうか。

また、若い保健師を育てる上で先輩保健師も育っています。専門職であることをしっかりと認識し、お互いに厳しく、そして思いを共有できるさんま（仲間、時間、空間）を作りたいですね。

職場の仲間からひとこと

柔らかく穏やかな語り口で、いつも優しく住民や私たちに接していただき、相談しやすい保健師ナンバー1の先輩です。

業務分担制で短期間で担当替えがあっても、どこおりなく事業展開できるよう、常に物事を整理・分析しながら仕事される、その姿勢には学ぶものがあり、今後も私たちも大事にしていきたいと思っています。

いつまでも、「保健師魂」を大切に、ご活躍ください。

インタビューを終えて (インタビュアーの感想)

保健師としての住民に対する思い、行政職としての役割など、熱いを感じる充実したインタビューで、「茶道の一座建立っていいと思う。」と言われた、そのとおりの時間を過ごさせていただきました。改めて、じっくりと先輩の話を聞くことは大切だと感じました。

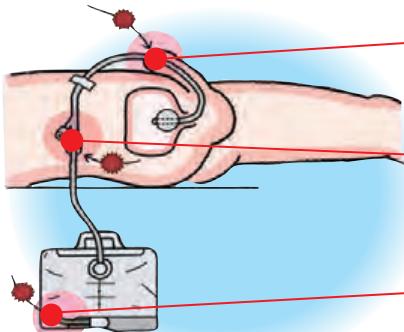
担当は、小樋（宇部支部）と佐々木（県保健師職能）でした。

尿路カテーテル関連感染

尿路感染は、最もポピュラーな病院感染のひとつで米国の急性期治療病院で報告される病院感染の40%を占めるとされています。院内で発生する尿路感染症の80%以上はカテーテルの留置によって発生するとされ、カテーテル留置が尿路感染症の最も大きなリスクとなっています。

尿道カテーテルの適正使用・管理が最も重要な尿路感染症対策となります

主な3つの感染経路



感染経路①：カテーテル外部

- ・挿入時、膀胱内に菌が押し込まれて侵入
- ・会陰や直腸に定着している菌が侵入

感染経路②：カテーテル内

- ・接続部の閉鎖が不完全で菌が侵入
- ・バイオフィルムの形成による菌

感染経路③：排液口

- ・菌が侵入して尿汚染

尿道留置カテーテル管理状況をチェックしてみましょう！

□不要なカテーテルは留置されていませんか？⇒留置する期間が長いと感染率上昇

留置期間が長いほど尿路感染のリスクは高くなり、留置後7～10日で約25～50%で細菌尿がみられ、30日以上の留置ではほぼ100%で細菌尿がみられます。¹⁾

□日常的に膀胱洗浄が行なわれていませんか？⇒閉塞が予想されない限り不要

膀胱洗浄は、カテーテルの閉塞（例えば、前立腺や膀胱の手術後の出血など）が予想されない限り、推奨されません。また、ポビドンヨードによる膀胱洗浄群と膀胱洗浄をおこなわない対照群において、カテーテル抜去後の細菌尿の有無に有意差なしと報告されています。²⁾

□定期的にカテーテル交換が行なわれていませんか？⇒定期的な交換に有益性なし

尿路感染を防止するため、日常的に一定間隔で交換することは推奨されません。むしろ感染、閉塞のような臨床的な適応に基づく交換あるいは閉鎖式システムに障害があった場合の交換が推奨されています。¹⁾

参考文献：

1) CDC : Guideline for Prevention of Catheter-associated Urinary Tract Infections, 2009.

2) Schneeberger PM, Vreede RW, Bogdanowicz JF, et al : A randomized study on the effect of bladder irrigation with povidone-iodine before removal of an indwelling catheter. J Hosp Infect 1992 ; 21 : 223-229.

やまぐち ナースセンターだより

No.107

お仕事探し・人材探し (無料職業紹介)



看護協会ホームページからアクセスできます

<http://www.nurse-center.net>
ご自宅のパソコンから求人検索できます。

- 常勤や短時間勤務などいろいろな形態でお仕事をお探しの方
- 救護や検診など短期間の求人に興味がある方
- 定年またはこれから定年を迎える方で、新たな職場を希望される方 など
登録をお待ちしております。

お電話・メールでも TEL 0835-24-5791 FAX 0835-24-1230
相談・登録ができます。 e-mail yamaguchi@nurse-center.net



お仕事に関する
お問い合わせは
ナースセンターへ

再就業コーディネーター紹介

長門・萩地域での活動



山本 真理子
ナースセンター事業における再就業コーディネーターに今年度、萩・長門地域担当が加わり、岸田由起子・田辺友子在宅保健師と私の3名が委嘱されました。未就業看護職の方々の再就業にむけて、個別支援や病院等との調整を役割としています。

再就業を希望される方と個別に面談し、再就業についての不安や希望等をお聞きする、看護協会や各施設開催の再チャレンジ研修会についての情報を提供する等を行っています。

また、地域の看護管理者の方々と情報交換の機会をもち、看護職確保・定着に共に取り組む活動を開始したばかりです。今後ともお力添えいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

徳山・宇部地域での活動



松浦 清子
再就業コーディネーターとして周南ハローワークで月1回の就業相談を受け持っています。相談にこられるほとんどの方は、ハローワークに就業先の情報を求めてこられ、ハローワークの職員から紹介され、相談室に来られます。相談を受けて強く感じるのは、超高齢社会に突入している今、再就業を進め、看護力を高めるには、発想を転換し、知恵を結集し、WLBを現場でどう実現していくのかが大きく関わってくるということです。

合同就職説明会

報告



参 加 状 況

	周南市 周南総合庁舎 さくらホール	山口市 ホテル ニュータナカ	萩市 サンライフ萩	合計
参加病院延数	25	41	20	86
参加者延数	34	50	12	96
内 訳	未就業看護職	11	13	26
	看護学生	23	30	60
	保護者他	0	7	10
相談コーナー	14	9	6	29
山口県若者就職支援センター・再就業コーディネーター 山口県ナースセンター				

参 加 者 ~病院に望むこと~

- ・教育・研修体制、新人教育、キャリアアップ
- ・育児と仕事の両立、勤務時間、働きやすい環境
- ・寮、住宅手当、通勤手当

病 院 ~現在取り組んでいる改善策~

- ・保育 院内保育園設置、病児保育、託児の充実、育児手当等
- ・教育 教育システムの充実、新人教育
- ・時間 定時退社、時間外勤務削減、休日の増加
- ・給与 夜勤手当、給与改善
- ・年齢 年齢制限撤廃、定年雇用延長
- ・その他 勤務体制、業務改善、奨学金制度、進学支援、メンタルヘルス対策、宿舎希望条件優先、ホームページ充実



働き続けられる職場づくり推進事業

アドバイザー派遣事業についてお知らせします。

1.アドバイザー派遣事業とは

県内の病院を対象に看護職員が働き続けられる職場づくりをめざしてアドバイザーを派遣し、相談・支援をすることで問題解決の糸口となり職場環境改善を図っています。200床未満の病院に対しては、山口県が実施している「中小病院看護職員確保定着支援事業」として看護協会が委託を受け実施しています。昨年度より「働き続けられる職場づくり推進事業」として200床以上の病院に対しては、協会事業として実施しています。

この事業は、安心して働き続けられる職場づくり・看護職員の確保定着促進・院内の資質向上となり地域の看護の質向上を目的にしています。



2.アドバイザー派遣の効果

多くの課題を抱えながらも外部の人を自施設に迎えることに消極的になったり、アドバイザー自身も自施設の問題を抱えながら他病院への支援に二の足を踏んだりで始まります。

しかし、同じ看護職。顔を会わせ、情報を交換することで、現状は違っても抱える問題は同じ、目指す看護も同じというスタンスで話し合うことができます。現状から逃れられなかった状況でも外部の人の助言で客観的に捉えられ、視点が変わったり、問題を直視することができ、問題解決の糸口になっています。数回の訪問ですべての問題解決になるわけではありません。過去の実施施設では、「当初の思いとは別に、来てもらってよかった。組織の一員としての役割を自覚しました。他の多くの課題解決に向かって行動します。」との感想が寄せられています。また、報告会・報告書を通してこの事業に対し、「みんな頑張っている。勇気をもらった。」との意見を寄せて頂いています。

3. 今年度は

今まさに事業展開中です。今年度は、3病院から応募があり、認定看護管理者6名の方に、病院に赴いてもらっています。職場環境改善、資質向上実現に向かって頑張っています。

社会経済福祉委員会業務部会主催 「第4回 職場・業務改善 発表・交流会」発表者募集 ～ちょっとした工夫で楽しく働き続けるために～

- 目的 他施設の発表を聞き意見交換することにより、活き活きと働きやすい職場環境づくりを考える。
- 開催日時 平成26年1月18日（土） 10:00～12:50（予定）
- 会場 山口県看護研修会館
- 発表形式 パワーポイント使用 1施設8分以内
- 応募方法 10月1日付発送の看護協会会員専用便で各施設看護管理者様宛に発表者募集文書を送付します。
(参加者募集は別途通知します。)
- お問合せ先 公益社団法人山口県看護協会 事業課 TEL0835-24-5791



インターネットショッピング等でのトラブルが発生中！ サイトを利用した購入には注意しましょう。

インターネットショッピングやインターネットオークションを利用して、商品を購入しようと思い、代金を相手に振り込んだにもかかわらず、「商品が送られてこない。」、「偽物が送られてきた。」という事案が発生しています。



注意ポイント

- 信頼できる相手であるかを確認する
- オークションのリスクを考えて取引する
- 相手が不審な場合は取引を中止する

インターネットショッピングサイトやインターネットオークションを利用したときに詐欺に遭われた場合等サイバー犯罪被害に遭われた場合は最寄りの警察署または山口県警察本部サイバー犯罪相談窓口（☎083-922-8983）へご相談ください。

女性や子どもへの声かけやつきまとい事案が増加中！

ながら歩きに注意しましょう。

県内では、女性や子どもが被害者となる声かけ事案やつきまとい事案が増加しています。例年秋に多発している傾向があることから、さらなる注意が必要です。

注意ポイント

○ ながら歩きに注意

「携帯電話を操作しながら」や「音楽を聴きながら」歩くと、不審者が近づいてきても気づくのが遅れるなど危険性が高いことから、「ながら歩き」はしないように心がけましょう。



○ 夜間の一人歩きに注意

勤務交替等で、夜間に一人で行動する際には、なるべく人通りが多く、明るい道を選びましょう。自宅前でも油断は禁物です。

○ 防犯グッズの活用を

防犯ブザーなどの防犯グッズを携行し、危険を察知したら躊躇せず活用しましょう。

（日頃から点検しておきましょう。）





私たちの職場 徳山医師会病院の ちょこっと自慢です。



新棟が完成しました。

平成22年の計画から2年半の歳月を経て、平成25年5月1日に同敷地内に本館が新築オープンしました。地下1階地上7階、4病棟180名の患者が引っ越しました。病室の西側は周南市内や徳山湾が一望でき、東側は周南緑地公園「万葉の森」が広がり、大賀ハスや四季の花々が観賞できます。また院内には、地球環境保全と患者アメニティの向上の為、院内緑化工コロジーガーデンを導入しています。

西館回復期リハビリ病棟から36mの連絡通路、本館3階リハビリ訓練室までの長い廊下は、リハビリ患者様には最高の環境になっています。

オープンシステムという病院の機能上、地域住民の憩いの場になるような院内環境を創っていきたいと思っています。



新棟 正面外観



院内緑化工コロジーガーデン



新棟東面全景夜景

表紙に寄せて

国立病院機構柳井医療センターは療養型施設です。長期入院患者様が、楽しく過ごせるように四季折々の行事を開催しています。この夏祭りに際しては、患者・家族、職員が一緒に安全に楽しく過ごすことができるよう6月から準備を始めました。言語聴覚士・栄養士との協力で、夏祭りの楽しみである屋台に「オリジナルたこ焼き」「ふわふわ綿菓子」「さっぱりジェラート各種」「飲み物各種」が用意され、食事の飲み込みに問題ある患者様にも安心して堪能していただきました。また、リハビリ科スタッフによる余興で、夏祭りの雰囲気を楽しんでいただきました。患者様は終始笑顔で、夏祭りを楽しむことができました。患者・家族、職員がひとつになり、とても楽しいひと時を過ごすことができました。今後も他職種との協働でよりよい看護の提供に努めていこうと思います。

ま
く
ゆ
き

山口県看護協会報
やまぐちナースセンターなど

Vol.123
平成25年10月1日

- 発行 公益社団法人 山口県看護協会
防府市大字上右田2886 TEL0835-245790
- 発行責任者 吉村喜代子
- 印刷 コロニー印刷

<http://www.y-kango.or.jp/>

平成25年度 山口県看護協会会員数

2013年8月31日現在

合計 9,808名

(加入率: 44.5%)

保健師
463人

助産師
322人

看護師
8,203人

准看護師
820人

お知らせ

“看護職の皆さんに安心を”看護職賠償責任保険制度の締切り日（平成25年10月15日（火））が迫っておりまます。加入しやすい掛金で加入できる保険です。是非ご加入ください。

編集後記

新たなメンバーで広報委員を頑張ります。

（村田（充）、上田、庵下、深町）